

# Progress to keep

ただの懐古主義ではない。  
現代技術を内包する、  
ビンテージルック。

PLOTの市販モーターサイクル「ロードホッパー」が、日本の道走り始めたのは2003年。改造車の特権のように言われた、HD製Vツイン+リジッドフレームのパッケージングを、車両製造メーカーとして認可される我々が完全合法の市販車両として世に放った、記念すべき年となった。以来、ユーザーと、そしてバイクそのものと真摯に向き合い、改良を重ね、「最高品質のリジッドフレームバイク」のポジションは不動のものとなる。そして2011年、ロードホッパーは第二世代へ。この潔い造形美を維持しながらも、更なる発展を遂げる。

## EQUIPMENT

車両メーカー基準というハードルを越えて採用される、主要部品。ここではType5iのEquipmentを紹介。

### Main-frame



ロードホッパーを構成する部品で最も重要と言えるのが、このリジッドフレーム。カスタム車に多く用いられる汎用フレームの場合、エンジンや足周りなど何通りもの選択肢を視野に入れ設計される物が一般的だが、量産車であるロードホッパーは、ルックス・性能の両面で一貫妥協せずに専用設計される。他のリジッドフレーム車と一線を画す、ハードでありながらも質の高い乗り味を実現させる、要諦となる部分。

### Motor



「HDは壊れやすい」と言うネガティブイメージを払拭したのが、このエボリューションエンジン。ロングストロークビッグツインの鼓動感と、旅にも使える信頼性を兼ね備えた名機として、歴代HDの中でもこの年代の支持者は多い。高品質なビンテージルックであるロードホッパーにベストマッチ。

### ECU



エボリューションのインジェクション開発は決して平坦な道りではなかったが、徹底的なベンチテストとあらゆる条件下の実走で、ついにオリジナルセッティングのECUが完成。季節の変化や標高差にも対応する最適なエンジンマネジメントをおこない、走るよるごとと環境性能の両立を叶えた。

### Front fork



2010年モデルより、従来の「ヨーロッパメイド改」からバージョンアップさせ、自社設計&日本製としたスプリングガーフォーク。クラシカルなルックスは維持しつつ、随所に工夫を凝らし卓越した操安性を手に入れた。メインフレームと並んで、ロードホッパーのキャラクターを決定づける重要な部品。

## MODEL LINE-UP

Type5iシリーズは、BIG-TWINの名機と言われるHD-EVO1340ccモーター搭載。

### Type 5i **EVO**



Type5iのベーシックモデル。金属素材の質感を活かしたエンジンで、飾りすぎない気風を感じさせる一台。オープンプライマリーよりもマイルドな駆動特性。

■車両本体価格：(税込)¥2,929,500-  
(税抜)¥2,790,000-

### Type 5i **EVO open primary**



エンジンからトランスミッションへの駆動をカバーレスとした、もっともビンテージテイストある仕様。乾式クラッチのフィーリングがダイレクト感を助長する。

■車両本体価格：(税込)¥3,108,000-  
(税抜)¥2,960,000-

### Type 5i **EVO-B**



B=brilliantの頭文字。高品質で定評あるHDのクロームメッキと黒のコントラストが眩しい、特別なEVOモーターを搭載。Type5i EVOシリーズのトップグレード。

■車両本体価格：(税込)¥3,144,750-  
(税抜)¥2,995,000-

➤ COMING SOON !!

2011年は充実のラインナップに。  
実走テスト最終段階のモーターサイクルをご覧ください。

市街地を軽快に駆け抜ける、  
抜群の運動神経。  
HD1200ccエンジン搭載の  
リジッドマシン。

## Type1i&2i

4月発売予定



Photo: Type2i (試作車両) 操安テスト走行

独創的なサスペンションシステムを  
技術者の執念でカタチにした、  
プロトの世界戦略車。

## Type9i

6月発売予定



次ページにて  
詳しく紹介しています。

Photo: Type9i (試作車両) 操安テスト走行

## Hopper's dealer

PLOT直営  
ロードホッパー販売店

ロードホッパーの購入、メンテナンス、  
カスタムは、確かな技術とセンスを  
お約束する正規ディーラーへ。

- 他の地域にもロードホッパー正規契約ディーラーがあります。
- ディーラー契約のご希望は、プロトMC営業部までお問合せください。



リアルホッパー東京  
東京都杉並区浜田山4丁目40-3  
TEL: 03-5913-8124



リグニス  
愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島5  
TEL: 0566-36-3737

ロードホッパーに関する  
お問合せと資料請求は



株式会社 **プロト** MC営業部  
www.roadhopper.com

〒473-0936 愛知県豊田市西岡町二本木11

TEL 0565-52-7138

## 語らずとも見てとれる、Made in Japan



Photo: Type9 ヨーロッパ統一型式認定“Type Approval”取得の輸出仕様

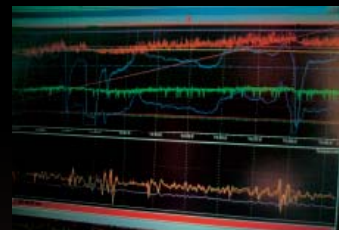
アメリカンVツインを用いながら、“和”の精神を表現する。その形貌から、ZERO-engineeringの一貫した造形理念を感じていただけることでしょう。中身も然り。世にあふれる、到底使い切らない機能満載のツールには辟易する人も多いと言います。そんな時代だからこそ、飾りすぎないモーターサイクルに癒しを求めるのも一興と考え、Made in Japanの現代品質を徹底的に磨きあげました。PLOTの世界戦略車として位置づけられる、この一台。2011年夏、いよいよベールを脱ぎます。

## 技術者のアイデアと意地が結実した、革新的サスペンション

「安心して走れるリアルリジッド」をキーワードに展開してきたロードホッパーが、次の領域として模索してきたものは、今から約2年前、その答えを“旅”に見つけました。しかし、ここで開発陣を悩ませたのが、「すでに世にある物の後追いでいいのか?」という思い。そして、そんな思いと、従来競技車両の開発を専門としてきたエンジニアのアイデアが融合し、まったく新しい懸架装置、「ブラインドアームサスペンション」を生み出したのです。コンパクトで斬新なデザインのスイングアームと共に上下動するアクスルブロックの動作を、メインフレーム内側のサブアームを介し、リヤタイヤ前に装備したショックユニットへ伝える。一見するとどんな仕組みなのか分からない、マニア心をくすぐるメカニズムです。



独自技術の開発は、容易なものではなかった。先ずスプリングレートと減衰力、そしてリンクのレバー比の設定で乗り手の感覚に忠実な作動性を見つける事から膨大な時間を要す。そして、ハードに攻めるサーキットテストで見えてきた、高速レーンチェンジやS字の切り返りで発生する車体のねじれ。これをアームピボット部の構造や金属素材の選定を何度も見直し、ついにこのクラスの車両に相応しい性能と耐久性を得た。



古風な出で立ちからは想像も困難な、多数の高性能センサー&データロガーを駆使した車両開発。左の写真に見える赤い棒状の物は、サスペンションのストロークセンサー、右の写真は、その解析画面。比較的ホイールトラベルの少ないサスペンションでありながら、その中で作動初期のスムーズさとフルボトム付近での踏ん張り、加減速Gへの対応とギャップ通過時のショック吸収性…様々な要素を磨き上げていく。

## 目指したのは、アウトバーン対応品質

万人の支持は求めず、ある特定の方向に突き抜けた性能をモーターサイクルに与える、ヨーロッパという土壌。ドイツ、イタリアなど多くの名車を生み出した“聖地”を主な市場とするType9は、ベテランライダーをも驚かせるコンフォート性能を、唯一無二のビンテージルックに備えました。リジッドフレーム車の設計との違いは数多くありますが、重要項目の一つは、フレーム剛性の確保です。サスペンションが設計で狙った動きをするためには、各製品のマウント位置が、車体のしなり等でずれてしまってははいけません。もちろん、ただ硬ければ良い訳でもなく、ライダーの感性にマッチした乗り味を追求するのが大切です。気温、路面状況、ライダーの体格、速度域…たくさんの複合的な要素を含めてテストし、何度も設計変更を繰り返す。そうして世界に向けて自信を持って発売できる車両が作られるのです。



Photo: Type9 (試作車両) 操安テスト走行

左の写真は試作一号機、右は最終仕様。フレームのネック周辺だけでも、パイプの太さ、ガセットの追加などの変更点が見られる。従来との大きな違いはリヤにサスペンションを装備することだが、フレーム剛性の適正化はリヤ周辺の改良だけでは実現できないことを表している。最終仕様に至るまでに10回以上の設計変更と試作を行い、ヨーロッパの厳しい要求をクリアする車体が完成したが、それは、標準的なクルージングはもちろん、高速域からのフルブレーキング、コーナー立ち上がりでの全開加速、S字カーブの急な切り返しなど、過酷な使用を想定したテストの産物と言える。

